

教科「国語」シラバス

1. 学習の到達目標と評価の観点

(教科名) 国語	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
(科目) 古典探究 α	2	高2 (必修)	【教科書】 『高等学校 精選 古典探究』第一学習社 【補助教材】 『基礎から学ぶ 解析古典文法 三訂版』桐原書店 『Key&Point 古文単語330 四訂版』いっずな書店 『漢文学習必携 三訂増補版』京都書房 『新訂 国語図説 六訂版』京都書房
学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
評価の観点	《知識・技能》 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		
	《思考・判断・表現》 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		
	《主体的に学習に取り組む態度》 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。		

【定期考査における観点別評価について】

年間5回の定期考査において、各回とも問題ごとに《知識・技能》《思考・判断・表現》《主体的に学習に取り組む態度》の3観点における評価を行い、点数化し、評定算出の基本資料とする。

【点数化が難しい科目や課題について】

- A：「十分満足できる」状況と判断されるもの……………100%
- B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの…… 80%
- C：「努力を要する」状況と判断されるもの…………… 60%
- D：未提出、未実施…………… 0%

2. 学習計画及び評価方法等

※教育的効果を考え、事前に生徒に説明した上、扱う教材・内容を変更することもある。

	単元	学習のねらい	学習のポイント、使用教材等
1 学 期 中 間 考 査 ま で	【古文】 ・物語『娵捨』第156段 【古文】 ・随筆『枕草子』はしたなきもの ・古文単語テスト	・古文を正確に読めるようにするため、文章読解の前提となる用言・助動詞を復習する。 ・古文読み解くための基本を復習し、これまでに習得した知識を文章読解を通じて定着させる。 ・文章読解に必要な古文単語の学習について、計画性をもって取り組み、正確な知識を身に付け、実際に使うことができ・自由な文体の随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・随筆に表れたものの見方・考え方・美意識を理解する。 ・背景知識や古文常識・文学史の知識を確認する。	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 【教科書】 『高等学校 精選 古典探究』第一学習社 【補助教材】 『基礎から学ぶ 解析古典文法 三訂版』桐原書店 『Key&Point 古文単語330 四訂版』いっずな書店 『漢文学習必携 三訂増補版』京都書房 『新訂 国語図説 六訂版』京都書房
1 学 期 期 末 考 査 ま で	【古文】 ・物語「伊勢物語」初冠 【漢文】 ・故事「呉越同舟」 ・古文単語テスト	【古文】 ・平安時代の語彙、最高敬語や補助動詞の敬語について理解する。 ・出来事の展開や作中人物の心情を捉え、人物造形や心理描写などの表現の特色に触れる。 ・作中の和歌を修辞技巧に留意して、話の展開に沿って解釈する。 【漢文】 ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。	【古文】 ・物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【漢文】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・基本的な句法を確認する。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 【教科書】 『高等学校 精選 古典探究』第一学習社 【補助教材】 『基礎から学ぶ 解析古典文法 三訂版』桐原書店

			版』桐原書店 『Key&Point 古文単語330 四訂版』 いいずな書店 『漢文学習必携 三訂増補版』京都書 房 『新訂 国語図説 六訂版』京都書房
2 学 期 中 間 考 査 ま で	【古文】 ・歴史物語「大鏡」弓争ひ 【漢文】 ・漢詩 五言絶句 七言絶句 律詩 ・古文単語テスト	【古文】 ・歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。 ・歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【漢文】 ・現在使われている言華の由来となった 【漢文】 ・漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。 ・漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。	【古文】 ・敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 ・今までの学習を生かして歴史物語を読み、作者の意図をふまえて内容を的確に捉える。 【漢文】 ・漢詩の特徴について理解を深める。 ・句法や漢文常識を習得する。 ・文章の構成や展開のしかたを的確に捉え、内容への理解を深める。 【教科書】 『高等学校 精選 古典探究』第一学習社 【補助教材】 『基礎から学ぶ 解析古典文法 三訂版』桐原書店 『Key&Point 古文単語330 四訂版』 いいずな書店 『漢文学習必携 三訂増補版』京都書 房 『新訂 国語図説 六訂版』京都書房
2 学 期 期 末 考 査 ま で	【古文】 ・物語「源氏物語」若紫 ・古文単語テスト	【古文】 ・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 ・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・背景知識や古文常識・文学史の知識を確認する。	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 ・今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、内容を捉える。 【教科書】 『高等学校 精選 古典探究』第一学習社 【補助教材】 『基礎から学ぶ 解析古典文法 三訂版』桐原書店 『Key&Point 古文単語330 四訂版』 いいずな書店 『漢文学習必携 三訂増補版』京都書 房 『新訂 国語図説 六訂版』京都書房

3 学 期 期 末 考 査 ま で	【古文】 ・ 日記文学「紫式部日記」日本紀の御局 ・ 古文単語テスト 【漢文】 ・ 名家の文章「雑説」 ・ 諸家の思想	【古文】 ・ 『源氏物語』の作者が時の帝の後宮に仕えていたときの日記を読み、その内面に抱いていた思いに触れる。 ・ 日記文学という文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【漢文】 ・ 本文の展開を的確に捉えるとともに、比喩にこめられた作者のものの考え方について理解を深める。 ・ 論説という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。	【古文】 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 ・ 作者の考えや意図をふまえて内容を的確に捉える。 【漢文】 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 訓読のきまりについて理解を深める。 ・ 論説の構成・展開のしかたについて理解を深める。 ・ 文章に表れる表現の特色について理解を深める。 【教科書】 『高等学校 精選 古典探究』第一学習社 【補助教材】 『基礎から学ぶ 解析古典文法 三訂版』桐原書店 『Key&Point 古文単語330 四訂版』いっすな書店 『漢文学習必携 三訂増補版』京都書房 『新訂 国語図説 六訂版』京都書房
--	---	--	--

【成績評価の概要について】
(1) 学期における評価の対象 ① 中間考查：100点《知識・技能》《思考・判断・表現》 ② 期末考查：100点《知識・技能》《思考・判断・表現》 ③ 平常点（授業内小テスト、提出課題等） ：50点《知識・技能》《思考・判断・表現》《主体的に学習に取り組む態度》 (2) 学期評定の算出方法 定期考查の素点合計200点に対し、平常点合計は50点とし（素点：平常点＝8：2）、多面的評価を行う。 (3) 年度末評定の算出方法 定期考查の素点合計500点（5回分）に対し、平常点合計は125点とし（素点：平常点＝8：2）、多面的評価を行う。